

Tricolor

大会・公式戦結果

TOP

【県社会人サッカー2部リーグ】

vs 六浦 FC	2-1○
vs SUPERIORE FC	2-3●

YOUTH

【県 U-18 リーグ】

vs 座間高校 C	2-13●
vs 平塚湘風高校	1-3●
vs 住吉高校 B	0-2●

【県クラブユースリーグ】

vs FC グラシア相模原	0-4●
---------------	------

JUNIOR YOUTH

【県 U-15 リーグ】

vs ARTH FC A	2-0○
vs 横浜栄 FC セカンド	3-1○

小6

【横浜国際チビっ子大会 U-12 決勝 T】

vs 横浜かもめ SC	3-0○
vs 黒滝 SC	0-3●

【全日本 U-12 選手権 神奈川県大会】

vs 大空 KSC	2-0○
-----------	------

小2

【横浜国際チビっ子大会 U-8】

vs たちばなキッカーズ	2-0○
vs FC80 洋光台	1-2●

Papas

☆Comp

【県 40 雀 1 部リーグ】

vs 多摩クラブ	1-2●
vs 鎌倉 40	0-1●

【市リーグ Over40】

vs 神奈川高麗 FC	6-2●
-------------	------

☆Rec

【県 50 雀 3 部リーグ順位決定戦】

vs dfb グランパ	1-0○
-------------	------

【市リーグ順位決定戦 Over50】

vs オフサイド 50	0-1●
-------------	------

今、グラウンドでは・・・

TOP

【リーグ戦終盤】

かながわクラブ TOP チームは 10 月 6 日(日)に六浦 FC とリーグ戦を行い、2-1 で勝利、また、10 月 20 日(日)に SUPERIORE FC と戦い、2-3 で敗れました。古豪六浦 FC との試合は、今シーズンのベストマッチと言ってよいほど選手たちの動きは試合終盤になっても落ちず、リーグ上位を狙う同士にふさわしい試合でした。SUPERIORE FC は新進気鋭のチームですが、関東リーグの横浜猛蹴やかながわクラブに在籍していた選手も多く、個々の能力が高いチームです。そんなチームに対して、ゴールの奪い合いになり、同点で迎えた終盤にゴールを決められてしまいました。これにより、6 勝 5 敗 1 分けとなり 5 位に後退です。

残る試合は 1 試合、すでに 1 部昇格を決めている横浜 GSFC コブラとの試合です。1 部にいたところからのライバルチームであり、負けるわけにはいきません。夜遅い試合となりますが、ぜひ応援に来てください。よろしくお願いたします。

【今後の試合予定】

11 月 24 日(日) vs 横浜 GSFC コブラ
 しんよこフットボールパーク 20:05～
 (中本 洋一)

YOUTH

なかなか公式戦で勝利することができていませんが、少しずつ軽いプレーも減ってきて戦えるようになってきていると思います。どの試合も守備の時間がほとんどですが、その時間に比べてはよく守れている方なのかなと思っています。

課題はたくさんありますが、一番の課題は攻撃のほとんどがロングボールを使ってしまっていて、そこでキープできずボールをすぐに失ってしまうことだと感じています。

U-18リーグ最終節の住吉高校 Bとの試合では前半のほとんどが守備の時間でした。ハーフタイムに普段練習で何をやっているのか、なんのために練習をしているのかについて話をしました。普段の練習ではロングボールを使った練習はほとんどしていません。ポゼッション(お互いの位置を見てボールをもっていない時の立ち位置と連動した動き、ボールをテンポ良く動かすこと)の練習がほとんどです。その練習は試合で出していくためにやっていることとボールを受けることから逃げな・怖がるな、ショートパスを中心に後半を戦うように選手たちに伝えることで攻撃する時間がかなり増えて、相手のゴールに迫るシーンが多くなりました。確かにパスを繋いで行くことは怖いかもしれませんが、普段トレーニングしていないことをやっても勝てるわけありません。

次の公式戦では練習していることを出せるように自信を持って戦っていきましょう。

(今川 暉一朗)

JUNIOR YOUTH

10月は中学3年生にとって最後の公式戦がありました。休部している選手や、練習参加が少なくなっている選手もいる中、14名が集まって最後の試合をすることができました。選手たちのコンディションは決して良い状態ではありませんでしたが、全員が今ある力を全て出しきって戦っていました。また、各選手がその局面においての流れを読み、今何をすべきかの判断を間違えずに実行することができた結果、最後の試合を勝利で終えることができたと思います。この勝利をみんなと分かち合うことができたことを心から嬉しく思っています。ナイスゲーム！

中学3年生は公式戦も終わり、高校入試に向けて学業に時間を割く時間がより増えていくと思います。高校でサッカーを続けようと思っている選手は、学業の時間も大切ですが自分で体を動かしたり、練習に來れそうな日は積極的に参加したり、ユースの公式戦に参加したりしながら、コンディションを落とさないように努めてほしいと思います。

受験が落ち着いたら、またみんなですoccerしましょう！

(古山 未来)

小6

今月も公式戦がたくさんありました。9月はリーグ戦でしたが、10月は負けたら終わりのトーナメント形式でした。

まずは横浜国際ちびっ子サッカー大会の決勝トーナメント1回戦、横浜

かもめ SC 戦では同じ神奈川区同士の負けられない戦いでした。3-0で勝利しましたが結果だけでなく、成長したと感じるプレーがたくさんありました。逆に2回戦目の黒滝 SC 戦では、基本技術・守備の切り替えの速さなど全てにおいて負けていて、レベルの差を感じた試合でした。

最近の試合は攻撃している時間・ボールを保持している時間が相手チームよりも多かったので、格上の相手と試合ができて子どもたちにとってはとても良い刺激になったと思います。

全日本 U-12 サッカー選手権神奈川県大会に関しては、会場が箱根になってしまい、保護者の皆様にご協力をいただいて、車に子どもたちを分乗させてもらい現地へ向かいました。渋滞で3時間ほどかかりましたが、子どもたちは全力でプレーする事ができました。かながわクラブは1回戦目シードで2回戦目に大空 KSC と対戦し、2-0で勝利しました。まだ流れの中で相手の守備を崩して得点できていないのでまだ満足できていません。シュート打つ前の動き、シュートを打つ前のボールの置き所、シュートを打つタイミング、コースをさらに追求していきたいと思います。

2回戦に勝利したので3回戦目は大豆戸 FC と対戦する事が決定しています。黒滝 SC と同様に格上の相手にはなりますが全力を出して最後まで戦って欲しいですね。3.4回戦目も箱根会場になります。

引き続き保護者の皆様、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

(今川 暉一朗)

小5

引き続き、ボールを持っていない時の準備や、ボールを持った時の判断を意識しながらトレーニングに取り組みました。その中でも、特にボールを簡単に失わないことを意識しました。

具体的には、不用意にチャレンジしてボールをロストしないこと、自分の状況が悪い時には自分より状態の良い味方選手を使うこと、前進が難しい時にはプレーをキャンセルし、何度でもやり直すことを心がけました。これらは徐々に安定してできるようになっていますが、対外試合の高い強度の中でどの程度実践できるかが今後の課題と考えています。

今月は交流大会にも参加する予定なので、どのような成長したプレーを見せてくれるのか楽しみです。

寒くなってきて風邪も流行り始めているため、体調に気を付けて元気に活動に参加してほしいと思います。

(豊田 泰弘)

小4

日頃よりクラブの活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

先日は神奈川区の交流戦に参加してきました。2試合ともに国チビでも1部リーグで戦っているチームと戦うことができました。自分たちの現在の立ち位置や自分の強み、課題がよく出てきた試合だったと思います。

いよいよ国際ちびっ子サッカー大会の決勝トーナメントが始まります。強みを生かして勝ちを目指すことはもちろん、各個人がそれぞれ課題に取り組んでいくことで勝利を目指していけ

ればと思います。ぜひ応援をよろしく願いたします。

(青木 達也)

小3

週末の練習では、対面パス、ゴール前での2対1や3対2、ボールポゼッションのトレーニングやゲームを行っています。

毎週継続して取り組んでいる成果を感じる事ができておきており、上達している選手が多く、良いプレーを目にする数が増えてきています。

ただし、一生懸命に勝ち負けにこだわりやる事はいいのですが、ゲームやボール回しの際に、必死すぎるが故に、味方への声かけの言葉がよくなかったり、気になる事があったので、選手達にはプレー中の言葉遣いには気をつけましょうと何度も伝えていきます。

練習試合では中々点差を付けて勝負試合が少なく、点を取られてしまう場面が多かったため、少しずつ改善をする為の練習を取り入れて行きたいと思います。

3年生は大事な成長期でもあるのでチームとして精一杯取り組んでいきたいです。

(栗城 聖也)

小2

【公式戦最終結果】

秋の公式戦(横浜国際チビっ子サッカー大会)が終了しました。結果は1勝5敗で、グループ7チーム中第6位でした。そんななかで、公式戦初勝

利を挙げることができましたし、勝敗には表れない成果も見られました。具体的には、総得点が7チーム中3位であること、また、他の6チームが得点を挙げられない試合(0-0のスコアレスドローも含む)があったにも関わらず、かながわクラブは唯一全ての試合に得点を記録するチームであったことです。

逆に課題としては、総失点が18で7チーム中最下位であったことから、守備面での向上が望まれるところです。攻撃面では自由で創造的な発想が求められますが、守備面においては、理論的に、そして組織的に動くことが必要となります。しかし、現段階では、個々の自由な発想に基づく攻撃面を担保するために、個人技術の向上に主眼を置いて活動しています。とはいえ、少しずつですが、守備を理論的に教えていく時期かと思っています。

【一生懸命に】

先月も書きましたが、公式戦のみならず試合(試合のみならず練習においても)に臨むにあたり、目標とすることは、「一生懸命にプレーをすること」と常に子どもたちには伝えていきます。何よりもそのことが自チームの仲間や相手チーム、審判、グラウンド準備の大人たち、お父様、お母様への礼儀であり感謝の気持ちの表現となるのです。

今回、6試合を戦ってスコアが、1-5、1-4、1-2、2-5、2-0、1-2という数字です。前述のように、全試合で得点を記録した唯一のチームであることは評価に値すると思います。最後まで諦めることなく、何点取られ

ても、一生懸命に自分のやるべきことに取り組んだ結果と言えるからです。

【全員のレベルアップがチーム力の向上に】

どの試合にも得点していること、そして、得点の8点は5人の選手によって記録されていることから、理想的なチームの姿が見えてきます。それは、スーパースター(上手な選手あるいは頑張る選手)一人に頼るチームではなく、全員がチームの勝利のために努力することができるということの現れと考えます。ここにも「一生懸命に…」という精神が活かされています。現状では攻撃面にのみ見られる姿勢ですが、いずれ守備面でも理論的にそして組織的にプレーできるようになることでしょう。

今後、一人一人の技術の向上がチーム力のアップに繋がることは明らかです。しかし、ここで障害となることは、保護者の方々が悪かれと思って子どもたちと行う「ものでつる」という約束事です。「試合で点を入れたら、ゲームソフトを買ってあげる」とか「試合で得点したら、ゲームを1時間してもいいよ」などです。こうした条件を付けることで、子どもは自分に利益のあることしかしなくなる可能性があります。極端な例としては、味方の邪魔をしてまで、無理矢理シュートをしようとするような我が儘なプレーに走るかもしれません。言うまでもなくサッカーのようなスポーツでは、個人の利益のためではなく、試合に勝つためにみんなで協力しながら一生懸命に取り組むことが大切なのです。

【ものでつることのメリットも】

子どもの発達段階において、「ものでつる」ことへのメリットもあります。条件を付ける人の気持ちはどのようなものかを考えたり、付けられた条件をクリアすることで自らを律する習慣を学んだりすることです。その結果、相手の気持ちを推し量ることや我慢をすることを学べるといった側面もあるようです。

ただ、試合に臨んでは、子どもたちは言われなくても、本能的にボールにのみ集中します。勿論1、2年生では、本能的にボールに集中させることが大事なのです。そうした時期(お団子サッカー)を経験したうえで、次のステップ(頭を使ってする理論的なサッカー)に進ませたいからです。そのために、子どもたちには、まずは思い切り本能のままプレーをし、そして、その限界を感じてほしいのです。相手の選手全員を抜くことができるのかどうか？一人でプレーすることの限界を自ら感じることで、では、次はどうすればよいのか？と考えられるようになります。味方の仲間と協力することに気が付けば大正解です。

味方の仲間との協力の仕方は、様々なトレーニングを通じてヒントを与えていきます(決してパターンを押し付けるのではなく)。自ら気が付けば、それを克服するための努力子どもたちは惜しみません。指導者としては、子どもたちが課題に自分で気が付くようにトレーニングに工夫を加え、試合ではヒントを与えるようなアドバイスを心がけています。

いずれにしても、サッカーの試合に関して保護者の方々の過度な干渉は避けていただければと思います。

【サッカーのルールは17条！】

Jリーグの試合中、PKの場面で、PKスポットに置かれたボールに水をかけるという行為があり、この行為に対して様々な意見が飛び交っています。かつてジーコもPKの際にボールに唾を吐き、2枚目のイエローカードで退場になったことがありました。唾と飲水用の水では質が異なるという意見はその通りだと思います。しかし、唾を吐くことが非紳士的(反スポーツ的)行為とみなされることは当然です。

ただ、当該チームの首脳陣のルールに明記されていないのだからOKだという意見は、いかがなものでしょうか？そもそもサッカーのルールは17条しかありません。なぜ、17条しかないのでしょうか？そこに答えはあるように思います。サッカーというスポーツは「子どもを大人にし、大人を紳士にする」と言われています。選手には、ルールに明記されていなくても、してよいこととしてはいけないことを自ら判断することが求められています。それがサッカーの精神だと思います。少なくとも日本の最高レベルJリーグでサッカーをしているプロの選手には、多くのサッカー好きの子どもたちが見ていることを忘れてほしくはありません。勝つためにはルールの網目をかいくぐってでも…というのでは、サッカー界の未来が危ういという気がしてなりません。

重箱の隅をつつくようにルールの抜け道を探したり、マリーシアと呼ばれる駆け引きを覚えさせたりするよりは、私たちは、やはり、正々堂々とサ

ッカーの技術で勝負できる選手を育てたいと強く思います。

(佐藤 敏明)

幼児・小 1

今月も練習試合を実施しました。多くの保護者の皆様に現地までお越しいただき、温かい声援を送っていただきありがとうございました。

子どもたちは全力で頑張っており、彼らの成長を感じる素晴らしい時間となりました。

コーチとしては子どもたちの現状を再確認することができたり、新たな一面をみることができました。子ども達も普段と違う相手、会場での試合に、色々な気づきがあったかと思いますので、今後の活動に活かしていただきたいと思います。

小学生低学年の子どもたちは、身体的成長に個人差が大きく、足が速かったり体が大きかったりする選手が、個人の能力で他を抜いてしまうことがあります。また、強いシュートで失点する場面も見られますが、今の段階ではそのようなことに過度に気を遣う必要はありません。高学年になるにつれて身体的能力の差は自然と埋まり、逆に追い越すこともあるでしょう。現時点で苦勞しながら工夫してプレーすることは、今後必ず役立つ貴重な経験となります。

勝敗に一喜一憂せず、プレーそのものを楽しみながら成長してもらいたいと思います。

(豊田 泰弘)

Papas

【2024 年度 Comp】

KSSL 四十雀 1 部のリーグ戦ですが当初は 10 月中旬には終了予定でしたが天候不良により 3 試合が延期となり、11 月 10 日が最終戦になります。(天候不良の場合は、その時点でリーグ終了)

前半 7 試合終了時は、6 勝 1 敗勝点 13 で 2 位につけていましたが、厚木・多摩・鎌倉と僅差での 3 連敗となり現在 5 位となっています。

最終戦は是非とも勝利して議長杯に繋げていってほしいと思います。今年度の登録は 16 名でスタートした Comp でしたが、チームの皆さまのメンバー勧誘などで 8 名増加して最終的には 24 名になりました。

怪我などでプレーできないメンバーの分も参加メンバーで最終戦・議長杯を戦い抜いてください。

【リーグ最終戦】

11/10 vs 座間 12:00 @飯山

【議長杯初戦】

11/17 vs 鎌倉 40 10:40 @深沢中
(瀬長 義男)

ヨーガ

【インドの師匠がやってくる！】

昨年の春にコロナ禍で行かれなくなっていたインドへやっと思って行くことができました。

コロナ禍の最中にオンラインでインドとつながってヨーガを習い、全米ヨガアライアンス 500 時間認定コースを修了することができたのですが、その時の師匠に会いにヒマラヤの麓にあるアシュラムを訪れることができたので

す。

チャンスがあればまた訪問したいとずっと思っています。でも、仕事を長く休まなければなりませんし、前はさらにそのときに新型コロナにも感染してしまい、かなり長い期間周りの方々にご迷惑をかけてしまいました。というわけでなかなか決心がつかずにいたのです。

ところが、この 10 月の初旬に思わぬ連絡が入りました。なんと、その師匠が日本に来るというのです。行きたいと思っていたインドがあらから来てくれるというのです。

来年の春の話なのでまだまだ先のことなのですが、今からワクワクが止まりません。

師匠に日本の素晴らしいところを見ていただきたいですし、私も師匠からヨーガを習いたいです。でも、それ以上に日本でヨーガを行っている方々にも本場インドの本物のヨーガ師匠のレッスンを是非受けてもらいたいです。

楽しいヨーガイイベントも企画したいと思っています。沢山の方々にご参加いただけますようにと思っています。

(伊藤 玲子)

伊藤玲子先生のCD 新発売！
聴く！グナヨーガ

聴く！
グナヨーガ
チェア

収録時間：52分
ポーズ写真入りブックレット
8ページ

聴く！
グナヨーガ
フロア

収録時間：59分
ポーズ写真入りブックレット
12ページ

★お買い求め方法
 ①以下の薬局の店頭でご購入いただけます。
 光和薬局 神奈川区片倉5-5-1
 ※地下鉄片倉町駅前のARビル1階
 TEL: 045-482-2215
 坂田薬局 神奈川区三ツ沢中町7-9
 ※地下鉄三ツ沢下町駅3番出口を右に出て、
 徒歩5分
 TEL: 045-321-3653
 ②以下のグナヨーガ公式サイトからご購入いただけます。
<http://www.gunayoga.com>
 ③アマゾン (amazon) からご購入いただけます。
 ④アイチューン (iTunes) からご購入いただけます。

各1575円(税込) 販売中



伊藤 玲子 先生

日本テレビに出演



YOKOHAMA
ANDO
 SPORTS

アンドウスポーツ

内田泰嗣税理士事務所

有限会社トップガン (ワンストップサービス)

税 理 士 内 田 泰 嗣

TEL/FAX 045-431-0408 〒221-0014 横浜市神奈川区入江 2-19-11 大口増田ビル 203号